

水道事業会計

予算の概要

平成18年度の予算は、合併による規模の拡大に伴い総額103億2941万円となり、前年度当初予算との比較で13億8087万2千円(+15.4%)の増加となりました。当年度純利益は2億6292万1千円(消費税を含む)を見込んでいます。また、右表のとおり資本的収支の差し引きで25億1226万1千円の不足額が生じますが、内部留保資金等で補てんします。

平成18年度主要事業

管網整備事業

安全でおいしい水の安定供給やライフラインの強化による災害に強いまちづくりを目指し、市内中心部で使用されている老朽管を耐震管に切替えるとともに、群馬地域の石綿セメント管等の布設替えを行います。

配水設備整備拡張事業

地域からの要望などに基づく配水管布設工事を実施します。

負担工事業

土地区画整理事業に伴う配水管の布設工事、下水道事業や道路建設事業に伴う配水管の布設替工事、消火栓の新設工事等を行います。

施設改良事業

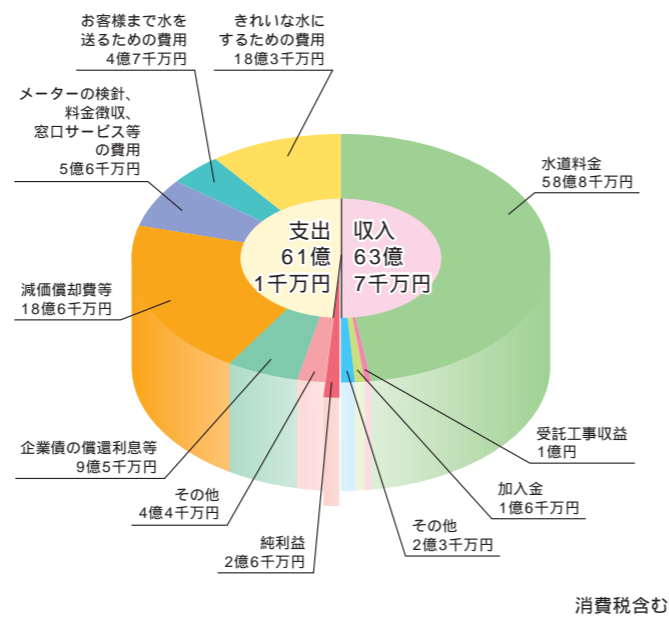
箕郷地域第3次拡張事業における矢原浄水場の改修、テレメーター装置の更新、白川浄水場汚泥処理施設の更新、水質監視装置設置工事(3か所・3水系)、中島浄水場高感度濁度計設置工事等を行います。



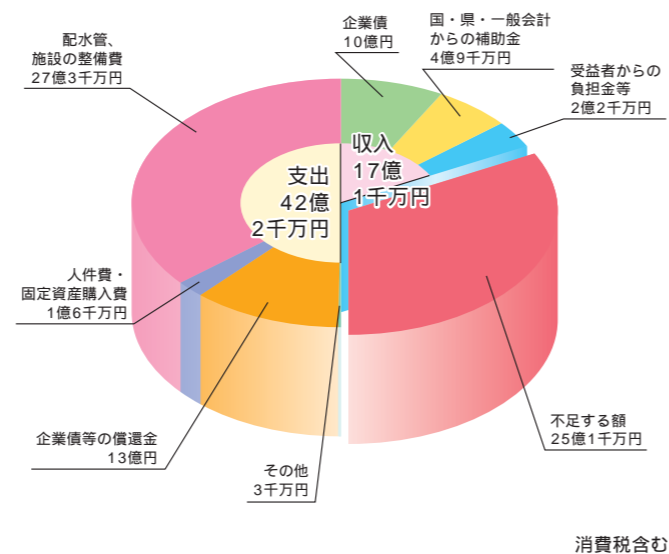
白川浄水場汚泥処理施設

給水戸数	140,500戸
年間総給水量	47,569,000m ³
一日平均給水量	130,326m ³

水道事業 収益的収支

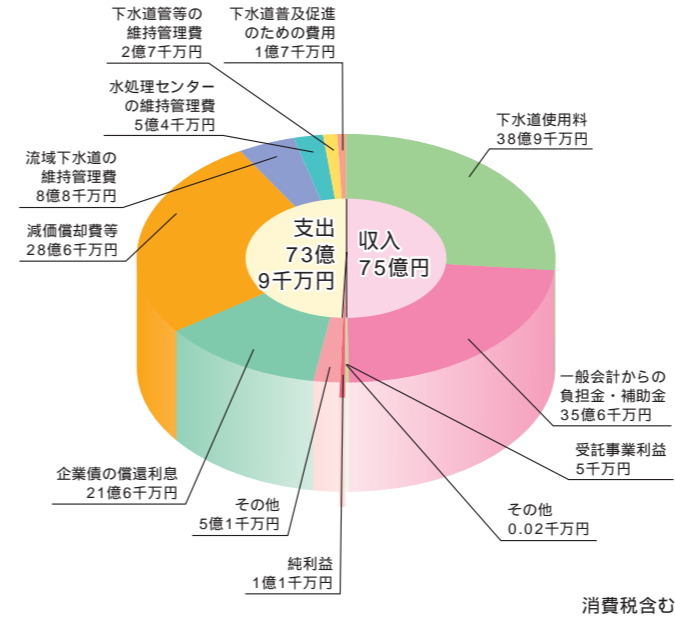


水道事業 資本的収支

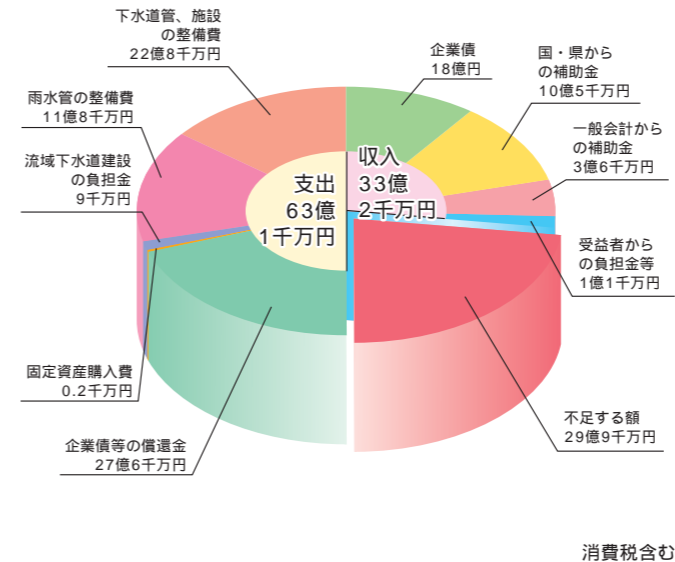


水洗便所設置戸数	94,688戸
年間処理水量	40,268,235m ³
一日平均給水量	110,324m ³

下水道事業 収益的収支



下水道事業 資本的収支



下水道事業会計

予算の概要

平成18年度の予算は、合併に伴う規模の拡大に伴い総額136億9861万3千円、前年度当初予算との比較で12億4197万6千円(+10%)の増加となりました。当年度純利益では1億1千万円(消費税を含む)を見込んでいます。また、左表のとおり資本的収支の差し引きで29億8999万4千円の不足額が生じますが、内部留保資金等で補てんします。

平成18年度主要事業

管渠布設事業

高崎地域の市街化調整区域を中心に整備を図るほか、箕郷・群馬・新町地域において管渠布設を行います。これにより、高崎地域の下水道普及率は85%を超え、新市全域で約75%となる見込みです。

雨水対策事業

高崎地域では、倉賀野町の烏川左岸雨水7号幹線築造工事第2・3工区の施工、吉兵衛堀関連の事業として、常盤町の新常盤樋管設置工事を国土交通省との協定に基づき実施します。また、新町北部・上武大学周辺の浸水対策として詳細設計を実施する予定です。

城南雨水滞水池建設事業

高崎地域の旧市街地合流改善事業の一環で、前年度の詳細設計に続き、本体工事に着手し、平成22年度の稼働を目指します。



雨水滞水池が建設される城南水処理センター

負担工事業

国道354号線(伊勢崎街道)とJR信越本線・上越線との立体交差に伴う踏切除去事業に伴い、下水道管移設工事を実施します。

施設改良事業

高崎地域の不明水対策として、飯塚町・大橋町・並榎町の管更生工事を実施します。また、阿久津水処理センター管理棟の耐震補強工事を実施するほか、各設備の更新工事等を実施します。

流域下水道建設事業

県央水質浄化センター(玉村町)の建設負担金です。